

令和2年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会

- 1 日 時 令和2年11月6日(金) 午後19時から午後21時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり9階 601・602会議室
(東京都調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 利用者 4人
事務局 10人
〈調布市〉
佐々木文化生涯学習課長
〈公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団〉
吉田常務理事、土方調整担当理事、阿部事務局長、木村企画課長、
土井文化・コミュニティ事業課長、藤堂芸術振興事業課長、
大割企画課長補佐、常廣文化・コミュニティ事業課長補佐、
岡野芸術振興事業課副主幹
- 4 資 料 令和2年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会
(令和2年11月6日) 要望事項等対応表【令和2年10月23日現在】

〈次第〉

- 1 開会
- 2 財団挨拶 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項
- 5 懇談
- 6 閉会

○木村企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会を開会します。

進行については、お手元に配布した利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配布資料を確認します。

利用者懇談会次第、令和2年度第2回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会の要望事項等対応表です。

続いて、次第2、財団挨拶、常務理事の吉田よりご挨拶申し上げます。

○吉田常務理事

皆様、こんばんは。常務理事の吉田と申します。

本日は、お忙しい中、今年度2回目となる利用者懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。

今年は思いがけずに世界中を巻き込んだ新型コロナウイルス感染拡大で、オリンピックをはじめ、予定したイベントの中止や延期が続いています。芸術・文化の面でも大分大きな影響がありました。

このような状況ではありますが、少しずつ感染症対策が日常生活の中で定着するようになってきており、当財団でも感染症対策を一番に考えた上、各事業を再開し始めています。

この間のことを少し紹介しますと、夏は調布よさこいが中止になりましたが、よさこいの歴史を楽しめる写真展の開催や、手づくり鳴子のワークショップなどを実施したところ、大変好評でした。

また、指定管理者として2年目を迎えた調布市せんがわ劇場においても、無観客でピアノコンクール、少人数の演劇ワークショップなどを開催し、舞台芸術の面白さを体験する人が少しずつ増えており、今後楽しみにしています。

そして現在、65回目の節目となる市民文化祭が開催中です。この記念すべき年は、みんなで考えた「今こそたやすな、文化のあかり」のテーマの下、日頃の活動の成果発表をオンライン配信しています。また、写真や絵画、生け花などの展示部門については、感染症対策を万全にして観覧していただいております。この間ステイホームの日が長かった方も多かったと思いますが、これまでとは違う思いで作品制作に取り組まれた方が多かったのではないのでしょうか。来場者からはお褒めの言葉もたくさんいただいております。

本日は、限られた時間ですが、懇談会を通して直接ご意見を伺い、誰もが快適に利用できるような施設運営に生かしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

○木村企画課長

次に、次第3、出席者紹介です。

最初に、調布市側の出席者からご紹介します。

生活文化スポーツ部文化生涯学習課・佐々木課長です。

○佐々木文化生涯学習課長

佐々木です。よろしくお願ひします。

○木村企画課長

次に、私ども文化・コミュニティ振興財団の出席者です。

常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願ひします。

○木村企画課長

調整担当理事の土方です。

○土方調整担当理事

土方です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

事務局長の阿部です。

○阿部事務局長

事務局長の阿部です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

文化・コミュニティ事業課長・土井です。

○土井文化・コミュニティ事業課長

土井です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課長・藤堂です。

○藤堂芸術振興事業課長

藤堂です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

企画課長補佐・大割です。

○大割企画課長補佐

大割です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

文化・コミュニティ事業課長補佐・常廣です。

○常廣文化・コミュニティ事業課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課副主幹・岡野です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

岡野です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

最後に、本日進行を務めます企画課長の木村です。どうぞよろしくお願いします。

続いて、次第4、連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

1点目、お手元に配布してあります出席者票にご記入をお願いします。座席番号の記入を忘れないようにし、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には番地、部屋番号までご記入いただき、氏名をお書きください。

2点目、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページに公表し、また、財団報「ばれっと」には抜粋した形で掲載します。

なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目、本日の懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開始30分後に5分ほどの休憩とドア開放を行い、全部で1時間程度の実施とします。また、参加者数を制限していることをご承知おきください。

初めて参加される方もいるので、利用者懇談会について改めて説明します。

日頃、たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場を利用されている方々と意見交換し、お寄せいただくご意見などにより、より良い運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

本年7月に行った利用者懇談会でのご意見などに対するその後の対応については、お手元の配布資料、要望事項等対応表の右側の欄に、太字下線で「令和2年10月23日現在」までの対応状況の部分になりますので、ご確認ください。

それでは、ここからはお1人ずつ、先ほどの要望事項等対応表についてのご質問も含めてご意見をいただきます。出席者全員からお話を伺いたいのので、時間を配分することがあることをあらかじめご了承ください。発言の前にはお名前をお願いします。

それでは、時計回りの順番でお願いしますので、私から見て左側、Eの席にお掛けの方からお願いします。

○E

Eと申します。お世話になります。私からは、3つお聞きします。

1点目は、既に7月の利用者懇談会のときに出た2番目のものです。6月1日から開館したことは大変大きな決断で、助かりました。

けれども、ソーシャルディスタンスを取るために、会場の利用者数を定員の50%以下にしなければならない。私たちの場合は15人ぐらいで活動しているため、30人以上の部屋でなくては使えないわけです。たづくりには定員が30人ぐらいの部屋は余りないため、40人や50人の部屋となると10階などになってしまいます。

施設利用料の減額を受けていますが、それでも今まで小さい部屋で済んでいたのが、倍くらいの値段になってしまいます。11月中旬を目処に施設利用条件の緩和を検討するとありますが、具体

的な条件や基準はあるのでしょうか。

2つ目は、毎回要望として出ていますが、たづくりでは昼食難民になりがちです。たづくりにはお弁当屋さんか、パラスぐらいしかなく、困るときが多いのです。また、お弁当を買ったとしても、テーブルがないため大変不便です。館内での飲食が可能なのであれば、1階のロビーと2階にテーブルを置いてほしいです。特に土日などは、お弁当屋さんも開きませんし、とても不便です。どうやって私たちの声を届けたら良いのでしょうか。私たちは、懇談会で要望することで、しかるべき決定機関に届くのかと思っていますが、この流れについても教えてください。

3つ目は、私が個人的に不便だと感じていることです。今日も三輪自転車で来たのですが、保健センターの入口に自転車を置くと、たづくりまで距離があるため、たどり着くのがやっとだったりします。1階のロッカーに物を取りに来るとか、図書館に予約の本を取りに来るとか、そういうときに、勝手に止めて申し訳ないなと思いながら、短い時間ですがたづくりの入口に自転車を置いています。

例えば高齢者や障害者に対して、1階のカウンターで特別駐車票とか駐輪票を用意していただき、利用したい人は乗ってきた自転車に置いておくなど、そういうシステムがあれば良いと思います。

たづくりは、自走式の地下駐輪場で2輪の自転車しか止められません。駐輪場へのエレベーターもない。

高齢者や障害者も健康を保つために外で活動しようというのが、介護予防の目的だったりしますので、出やすいように、利用しやすいような仕組みとしてぜひ考えてください。

○大割企画課長補佐

利用料金以外のことについてお答えします。

1点目です。今日、ホームページで発表したのですが、11月18日から原則として定員の100%以下になるよう制限を緩和しました。中には50%以下のままのところもあります。それは市のガイドラインにありますが、大声での歓声とか声援、食事を伴うような利用、合唱も含めた歌唱と演劇の練習、それから吹奏楽の練習など、マスクの着用ができないような利用は、引き続き50%以下となります。

○佐々木文化生涯学習課長

利用料金について、ただいま大割企画課長補佐から説明がありましたとおり、11月18日からはなるべく制限を100%以下にしていくという形に緩和しますので、利用料金の減額や減免について、市としては実施の予定はありません。

○大割企画課長補佐

それから、2点目の館内での飲食についてです。1階ロビーのフリースペースについては、飲食

していただいて構わないのですが、今ある椅子の場所を動かして、対面するような形で複数の方での食事はご遠慮いただいています。テーブルのご要望がありましたが、テーブルを出すと、どうしても対面してお話をされてお食事ということになるため、現状ではテーブルを出す予定はしていません。今後の状況に応じて、市と相談しながら検討します。

3点目について、たづくりは地上部分に駐輪場を設けていないため、ご要望として承りました。差し当たってできることとして、おっしゃっていたように、受付に声をかけていただければ、その点について配慮します。

○E

再質問します。この11月18日というのは、感染状況に関わらず制限を緩和されるのですか。

○大割企画課長補佐

よほどのことがない限り、現状ではその予定でいます。

○E

飲食のことは、市が決断するのか、財団であるのか、どちらなのですか。

○大割企画課長補佐

最終的には市が決定します。要望については私どもにいただければ、市と相談します。

○土方調整担当理事

以前、土日に軽食などを食べたいという要望がありまして、パラスに相談したところ、事前に予約すれば、サンドイッチや軽食を用意できるという話を伺っています。

○E

どこかに表示しておいてくださると助かります。

○土方調整担当理事

わかりました。

○E

自転車の特別駐輪票も受付にありますと書いておいてくださると助かります。

○土方調整担当理事

これから調整します。

○木村企画課長

よろしいでしょうか。では、次の方に参ります。Gのお席の方、お願いします。

○G

Gと申します。よろしく申し上げます。

7月の1回目の利用者懇談会にも出まして、今年度2回目で、話題にしたいことは同じです。2

点です。

今日は、前回の会議録は席上に配布されていませんで、要望事項対応表と次第と出席者票です。1点目は、7月にも申しあげました要望事項対応表の4番のグリーンホールの建て替えについてといるところで書いてあります。ここの中で、改修なども含めた検討を行ったほうが良いのではないかと、そのようにまとめてもらっています。

具体的に、清瀬のけやきホールは、青木茂建築工房のリファイニング建築、再生建築という方法で、建て替えなくても、築30年の建物を使い続けているので、そのようなやり方もあるということで挙げました。

右側のほう、「申し訳ありません」は別に良いのです。その右に、「グリーンホールの建て替えにおける様々な課題」と書いていますが、まず建て替えが決まっているのか。これは市の方も、財団の方も、建て替えが決まって進めているという書かれ方をしています。市民としては、グリーンホールは建て替えが決まりましたというアナウンスを聞いたことはありません。ということで、7月に出たときも、改修を含めた検討でやったほうが良いのではないかとお話ししています。

グリーンホールは文化の殿堂ということで使っている方もいますし、建て替えとなると、使えない時間や期間が出てくるなど、影響は非常に大きいです。普段から親しまれている建物ということで、耐震性、バリアフリーの問題があれば、それを解消すれば良いですし、何が建て替えをしなければいけない理由になっているのかが分かりません。バリアフリーと耐震だけで解消するのであれば、建て替えなくてもできますので、そういう検討はしているのか。

その後、今年度、利用者の方々と話し合いをすると書いてあります。この辺、7月から11月までの動き、それから年度内ということは3月末までになりますが、もう下期に入っているので、今まで何をしてきたか、今年度どういうことをしていくのかを伺いたいです。

2点目は、たづくりの建物の照明のLED化についてお願いしました。一番冒頭に会議録がないと申しあげたのですが、会議録には話した内容がほぼ漏れなく書いてあります。ただ、対応表にはLEDというキーワードすらなくて、この要望事項対応表には、一番右上に継続して検討していく事項の一覧だと書いていますが、7月に要望した内容は、財団では継続して検討していく事項ではないと判断されて載せていないのかを伺いたい。

7月、11月、年間2回同じ人が来て、同じことを申しあげるというのは余り面白くないでしょうし、できればこういうところに載せてもらって、7月以降にこういうことを検討しているとか、そういう状況を教えてもらっているのであれば、わざわざここに来てお話ししなくても良いのではないかと。時間的にももったいない。

前も申しあげたように、2012年当時、自分が住んでいるマンションの照明のLED化は、器

具を換えなくても、管球の交換だけで2年ぐらいで元が取れてしまう試算の下にやっていました。今年の7月の前に、2017年にこの懇談会があったときにも最初に申しあげたので、今日で3回目の提案になります。今日来て、この部屋もそうですが、蛍光灯がついています。

商業施設とか公共の施設は、普通のお部屋と違って、まめに電気をつけたり消したりという場所ばかりでもない、つけたらずっとついているところが多い。こういう直管の場合だと、LED1本で電気代が半分ぐらいになるため、電気代の削減効果が非常に大きい。省エネとか環境、あとは交換の頻度が下がる。LEDはインシヤルコストがかかるかもしれないのですが、それ以上にメリットが大きいので、今切り替えているところが多いです。皆さんの中にも、お宅で電球や照明器具をLEDに換えていらっしゃる方もたくさんいると思います。

2017年以降申しあげているところが、前回の会議録を読むと来年以降とあったのです。できるだけ早くやったほうがメリットがあるので、やっていただけませんかと要望として出したところが、なぜこの検討事項に反映されないのか。

また、施設の維持管理のコストを下げるために有効だと思っていますが、そういうのがすぐに反映されないのはなぜなのでしょう。そういうところを進めている準備状況はあるのでしょうか。財団が運営しているから予算がつかなくて、そういうことができないのであれば、財団がこういうところを運営しているメリットも疑念が出てくる場所ですし、その部分を教えてください。

○木村企画課長

それでは、大きく2点、グリーンホールについてお答えします。

○佐々木文化生涯学習課長

グリーンホールの件は、施設の老朽化といった問題、非構造部材の耐震化の問題、バリアフリーの問題、様々な課題があります。また、現在、駅前広場の整備を行っていますが、そちらとの整合性といった中で、市としては、色々なことを総合的に考えた中で、建て替えを見据えた検討を今進めています。

また、グリーンホールだけではなくて、調布駅周辺の大規模公共施設全体のマネジメントについて、市の公共施設マネジメント担当が中心に行っていますが、そういった中で、グリーンホールのお隣にある総合福祉センターも、都市計画上の今後の整備の予定などもある中で、今のまま維持していくことが難しい。ただ、総合福祉センターについては、その機能を止めることがなかなかできないので、どこかに移転する、もしくはどこかにいったん仮移転して、また戻ってくるということもありますが、その仮移転場所もなかなかないところで、現在地での建替えが難しい状況です。

グリーンホールの今後の整備に関しては、この間、利用団体の皆様と意見交換しながら、市の考え方を整理していますが、今後、総合福祉センター側と歩調を合わせながら、総合福祉センター側

についても、グリーンホール側についても、検討会を立ち上げていく予定です。

検討会については、どうしてもホール機能をメインに考えていきたいので、有識者の方や利用団体の方、利用者の方、普段ホールを利用されている方を中心に、今年度、これから立ち上げていきたいと考えています。そこで、今後の整備の考え方を整理した中で、広く市民の方にご意見を聞くような市民参加の場面を設けていきたいと考えています。今年度中に、市としての考え方がある程度まとまるような形で進めていきたい。今、まだ市民の皆様には方針をはっきりと示しているわけではないですが、そういった検討を進めています。

一部の改修ではなくて、建て替えを見据えた中で、もちろん財政上の問題もありますので、民間活力も活用しながら、整備費を抑制しながら進めていくことを基本に考えています。

2点目のLED化の話については、前回もいただきましたが、前回もお話ししたとおり、市には公共施設が数百ある中で、20年後ぐらいの長いスパンで、維持保全計画をつくっており、毎年度、市全体として施設改修に20億程度の予算をかけて、老朽化等への対応を計画的に行っています。実際、維持保全計画において色々な公共施設の多くの改修計画がある中で、たづくりのLED化がその俎上にはのっていないという状況です。

確かに、LED化することによって環境にも優しく、コスト削減にもなります。一方で、限られた予算の中で、市民の安全を確保する上で必要な改修や、法を遵守するために必要な改修を優先せざる得ない状況の中で、申し訳ないのですが、LED化という新しく計画にないものを一気に進めていける状況ではないと考えています。

○G

まず、グリーンホールの件については、市のお考えは聞けました。ただ、今、伺った内容として違和感があるのは、駅前広場の整備とグリーンホールが連動しているところは特にぴんとこないです。

○佐々木文化生涯学習課長

駅前広場は今、道路区域として整備しているという形になります。そういった中で、今のグリーンホール2階の大ホールに上がる外階段を道路上に残したままにできない。以前、市としても、外階段をなくして、別に大ホールに人を上げられるような形で改修して使い続けられないかという調査、シミュレーションもしたのですが、1,300の規模の人を、あの階段以外の方法で上げていくのが難しい。そうすると、今のグリーンホールの機能を維持していくのが難しくなりました。先ほど申しあげた老朽化の問題とか、バリアフリーの問題がありますので、それも含めて更新を視野に検討を進めているという状況です。

○G

色々調べたのですが、道路上に階段があつて、道路になってしまっているから、階段を平成35

年末までに撤去しなければいけないとか、それをするとグリーンホールのキャパを半分ぐらいにしなければいけなくなるからという、建て替えをお膳立てするためのストーリーが、もう既に最初からできているのではないかと。

なぜそういうことを思っているかという、道路であっても、必要なものは置いておいて良い。交番とかトイレが今、駅前広場にありますが、道路上にでも必要なものはあるわけです。だから、道路にあっても、管理者が公共上必要だと言われるものについては存在しても良いはずなのです。そこは、市の方も、財団の方も、決めつけられたストーリーにはまってしまっていると思われます。もう少しフラットな考えで行ってくれば、駅前広場とグリーンホールを建て替えなければいけないというところはどうも直接結びつかないのではないかと。

最初から市民に説明するときも、建て替えですといきなり来ると、おそらくすごいハレーションがあるので、その辺を注意して検討してもらいたいと思います。

それから、LED化についても、来年も予算がという話だったのです。今、手元に資料がないですが、既にもう大分前に、2017年にやる時も、2018年度ぐらいまでには完了する。年度の1年ぐらい先の話でやろうと思っているが、まだやっていないぐらいの感覚だったと思います。なので、2020年になってやっていなかったの、何でやっていないのかというお話をしていました。なので、今、手元に資料がないのですが、既に終わっているぐらいのもともとのたづくりのLED化の計画だったのではないかと理解しています。

調布市としては、街路灯のLED化についてはガイドラインを最近つくられて、ああいうものを進めているとか、LEDのメリットに関しては理解されて、進めているところがあります。

ここの施設は、例えば日中帯だけではなくて夜間でも使われているし、使用頻度でも、朝から夜まで稼働している施設です。そういうところとかも考えると、それだけ置いていかれるというのは、政策として不整合なのではないかと思われます。

あと、2点目のところで聞いたのですが、要望事項等対応表に載せなかった理由は何かありますか。

○木村企画課長

30分たちますので、ここでいったん休憩してよろしいですか。今いただいた回答から再開したいのですが。

○G

ずっとはいられないので、そこの回答だけお願いしていいですか。

○大割企画課長補佐

会議録の要旨については基本的にすべて掲載することにしていきます。要望事項等対応表について

は、その場で明確なお答えができなかったものを中心に、あるいは継続して検討していくものを掲載しています。LED化のことは、確かに検討課題ではありますが、短期間で状況が動くような問題でなく、市の計画の問題なので、この対応表には載せていないということです。

○G

少し納得がいかないです。例えば財団、市のどちらか分からないですが、たづくりという施設で未来永劫、LED化するつもりはないと判断しているのだったら、継続して検討していく事項には全くなくても、そういうものだと判断したのかもしれませんが、今の調布市の考えだと、来年、それ以降、まだ含みがあるわけです。街路灯をやっているところからすると、近い将来にはやるのかなと。

せっかく要望を出した内容に関して、そこでフィルターがかかって、都合が悪いものに関しては、載せるとか載せないという判断が入ってしまうのは、余り納得がいかないのです。解決したとか、もうすぐ解決しそうとか、そういうものは別に載せないということもあるのですが、それこそ、さっき市の方がおっしゃったように、来年度、再来年度とか、もう少し長いスパンであればこそ、継続して検討していく事項に載せていくものではないでしょうか。

○大割企画課長補佐

そういう意味ではおっしゃるとおりなのですが、現状で市の計画には乗っていないというのがお答えです。

○G

財団としてはどうなのですか。最初にお話ししましたが、調布市の中でたづくりが一番温暖化ガスを出す施設、高コストで環境に負荷をかける施設だという資料がありました。そういう中で、環境負荷やコストを考えたときに、改善する中で一番考えなければいけない材料ではないかと思っておりますが、こうやって要望を出しても何も無いということは、そういうことは全く問題ではないということなのかをお伺いしたいのです。

○土方調整担当理事

財団としては、そういう考え方は持っていません。

○G

それであれば、市に対して予算をつけてやっていきたいと思いますとか、市が出さないから対応表にも出さないとか、そういうことで良いのですか。

○土方調整担当理事

駐車場からエレベーターまでの廊下に手すりをつけたりなど様々な要望を出しています。佐々木文化生涯学習課長が言っていたのですが、協議して、市から優先順位をつけるような形で予算の措置

がありますので、決して私たちが要望していないということではないです。

○G

であれば、2回目の要望には必ず載せて、課題として管理していただくようにお願いします。

○土方調整担当理事

それは理解しました。

○木村企画課長

ありがとうございます。では、ここで5分間休憩をいただきます。19時50分に再開しますので、暫時休憩を取ります。

(暫時休憩)

○木村企画課長

では、再開します。

それでは、Iのお席にお掛けの方、お願いします。

○I

遅く来て、最初の説明を聞いていないので、重複するところがあるかもしれませんが、よろしくお願いします。Iと申します。

前回の報告の中で、舞台上の飛沫対策を検討していただき、ありがとうございます。

明日、文化祭の音楽祭があり、グリーンホールの準備をしていたため、本日遅れました。文化祭も含めてですが、私たちがグリーンホールを使うときは、大ホールのステージをオーケストラピットまで使うため、多いときだとオーケストラが100人近く入ります。東京都の交響楽団が最初にグリーンホールで演奏したのですが、その後、市民としては初めて、私たちが市民と電気通信大学のオーケストラで「第九」の演奏会をしました。

電通大の学生たちは、一回の演奏会のみで終わるではなく、今後も我々と一緒に協力してやろうということになり、学生は4年に1度「第九」の演奏会を続けてきました。

その間を縫うように生まれた調布市民合唱団は、毎年、4年間のスパンを埋めるように活動してきたのですが、今は音楽連盟と一緒に電通大の学生たちもやっています。そこから発展して、地元では音楽連盟ができ、オペラがやりたいということで「椿姫」をやり始めた。その結果、オペラ振興会ができて、2年に1度グリーンホールを使ってグランドオペラ公演をやっています。このようにグリーンホールは、調布の文化にとっては非常に象徴的な建物です。

客席が1,300席、オーケストラピットで200席つぶしますので、観客席は1,100席にし

かならないため、グランドオペラ公演をやるには、1回の興行では必ずしも採算が取れないということで、今でも2回公演でやっています。グリーンホールが竣工して40年経ったということで、そういう活動を40年以上続けてきているということです。

来年、電通大の学生はその4年目に当たる年で、来年12月に演奏会をしようと、音楽連盟と相談しながら進めています。そうすると、舞台にはオーケストラが100人、合唱団が150人ぐらいという非常に密な状態での演奏になります。でも、市民にも期待されていることもあり、今後も続けていきたいため、現在準備を進めています。今年は感染症対策で、電通大の学生は部活ができないということで、音楽祭には参加できませんが、そういう状態で迎えています。

今までの改修の説明の中で、今の1,300席の規模のグリーンホールがどうしても維持できないという案の説明が市からあるので、非常に心配しています。最低でも今の規模を残してくれないと、私たちの取組ができません。文化協会の理事会をやるときに、市長と話す機会があったのですが、今年度に関しては、やはりコロナ禍で市長と話す機会がなかった。

そして、前回の7月の懇談会でも、こういう検討状況だと。市からの説明の中でも、専門家の話を聞くと、今のところ可能なのは1,000席ぐらいのキャパでしかできない。今の都市計画で、総合福祉センターの南側の道幅を広げたりすると、セットバックしなければいけないとかという計画上の支障があつてと言われていました。

とにかく、現実には今の規模以上のものを確保する対策は取れないのかということです。それを主に考えてもらいたいと思って、我々利用者の話も聞きますということを前々回辺りからずっと言われていますが、今はもろもろできないようだ。改修の話も、総合福祉センターが完成しないとできないという話も聞いていますが、その検討状況も、どういう課題があつてできないのか、話していただけたところがあつたら、ぜひ伝えてください。

今まで、専門家と色々と検討していますという完成形に近いもので、先ほど話を聞いていたら、道路指定になったために階段を撤去しなければいけない。素人の考えですが、道路指定をまた戻すことはできないのかとか、先ほどのGさんの話ですと、道路上でも必要なものであれば残せるのではないかとされたところも、非常に心強い見識だと思って聞いていました。私たち音楽連盟は文化協会に入っていますので、利用者の声をきくとかの機会があれば、早め実施していただきたいです。

次に、対応表の2番のところ。私が言ったのですが、施設利用料で困っている件です。30人で会議をやろうとすると、たづくりの中では、例えば研修室、定員が48人だと半分の24人、最近少し制限が緩和されて椅子が増えていますが、なかなかできません。音楽祭の実行委員会なども、今年はコロナ関係で参加できないとか、練習ができないということで参加団体が減って

きています。50人の部屋は、1001学習室のような大会議室でやっと半分で、何とかぎりぎりやれますが、それ以上のところが取れないため非常に困っています。

それで今、11月18日から定員が100%以下になるだろうと言われた。会議系で使うには、例えば大会議室とか研修室はオーケーだとか、音楽で使うのであれば、研修室とか地下練習室は半分になるとか、そういった具体的なところを教えてもらいたいです。

私もコロナの患者数を毎日確認していますが、緊急事態宣言が出された頃から患者数が減ったという意識はありません。感染症対策はしているのですが、安心な状況が確保できないと家族の納得が得られない。そういう状況もありますので、安心してできるように具体的に教えていただくと、皆さんに状況として説明しやすいです。

あともう一つ、先ほどのLED化の問題ですが、調布市は2年ぐらい前に、CDだとかで省エネの取組をやっているというのを見ました。先ほどGさんが、管球の交換だけだったら2年で元が取れると言っていました。器具を取り換えると確かに大変だと思うのですが、管球交換だけだとどうだったのか、きっと市でも試算されていると思うので、そういう説明をしていただくと、そういうことで進まないのだな、順番にやってくれるのを待ったほうが良いのだろうなど。色々考えてくれる人には、そういう具体的な説明をしていただくと、我々も分かりやすいのでお願いします。

○木村企画課長

3点、1点目のグリーンホールについてお答えします。

○佐々木文化生涯学習課長

グリーンホールの関係ですが、昨年度来、利用者の皆様と意見交換した中で、現行の1,300席を望まれる声が多い中で、私たちがこれまで有識者の方にご意見を伺った中では、今ある課題をクリアしながら、現行の1,300席を維持するのはなかなか難しいのではないかというお話もいただいていたところではあります。

この間、他団体のホールなどを視察に行った中では、例えば今、客席は2層の構造になっていますが、3層にすることで1,300席入れることも可能というところもあります。ただ、先ほどから申しあげているとおり、施設としての課題、バリアフリーの面ですとか、トイレが座席数に対して少ないとか、色々クリアしなければいけない課題をクリアしながら、それでも1,300席が維持できるのか、そういったところも検討していく必要があります。

では、3層にすれば1,300席確保できる。ただ、そうすると、ホワイエとか廊下の部分が狭くなってしまいますよとか、そういった絵を一度描いて、それを皆さんにもお示ししながら、ホワイエがこんなに狭くなるのだったら、やはり座席部分をもう少し小さくして、その分席数が減ってしまうとか、そういったところをやり取りしたいので、その準備を進めている状況です。

絵を描く前にも、もう一度皆様と意見交換して、1,300席を望む声が多いのかも改めて確認しながら検討を進めていきたいと思っている反面、逆に言うと、Iさんにお聞きしたいのは、いつも大ホールを使っていたら、グリーンホールは施設上の課題がたくさんあります。それを、例えばGさんが言ったおっしゃった一部改修となると、エレベーターが3階まで行っていないとか、舞台へ行くにも階段を使う必要があるというような課題を全部クリアしようとする、あるいは、老朽化の改修をしようすると、それこそ本当に何億という改修費が必要になっていきます。それが良いのか。一気に解決するために、民間活力も入れながら建て替えるのが良いのか。

私たちとしても、コストのシミュレーションをしていかなければいけないかなと考えています。Iさんのように、普段使っている方からすると、感覚的に建て替えたほうが良いのではないか、もしくは改修で済むのではないか、その辺はどんな感触ですか。

○I

私も建築上の専門家ではないのですが、グリーンホールは、音響的な響きの面では一流とまではいかない。つくり方で変わるのだったら、建築だとかそういう設備の方に意見を伺わないといけません。私たちは、イベントとして市民と一緒に取り組むときに、1,000席だと、オペラだとかそういう取組ができなくなる。あるいは、市民とやっている「第九」みたいに、電通大とやるときにはオーケストラが100人ぐらいになるが、プロのオーケストラと一緒にやる時は40人ぐらいになります。そういう点で色々違いがあるので、一概には言えない。

あとは、ステージは日比谷公会堂と同じ大きさと言われて、広さは十分ある。色々な取組ができるということで、オペラなどもやっています。

エレベーターがなくて使いにくいというのは今でもそうです。20代、30代で音楽祭をやってきた人が、30年ぐらいたつと、行ったり来たりするのが大変。今年は少ないので、出入りの時間を5分取るだとか、ゆっくりやるから良いですが、いつもだと1分間で出入りをやってくださいと言われると、そんなに急いでやったら階段が危なくて駄目だということで、そういう対策をしながら運営しているので、問題は色々あります。ただ、入れ物がなくなると、文化的な取組ができなくなるというところでは、非常に残念なことになるのではないかな。

バレエの方たちも、公演をやれるところがあるかないかは非常に重要だと言っています。隣町の府中だと、キャパがもう少し広いから色々できるが、調布の場合は、何とかそれを使ってやっていこうという市民の動きがあるので、それを大事にしていきたい。我々もまた続けてやっていきたいので、それは専門家という人たちの意見、先ほど言った清瀬の改修も参考になれば、聞いてみたいという気持ちです。

○木村企画課長

グリーンホールの件はよろしいでしょうか。では、施設利用について。

○大割企画課長補佐

歌の練習を例に取りますが、例えば研修室で歌の練習をされる場合は、引き続き定員は50%以下をお願いします。それは音楽練習室も同じです。通常の打合せや会議での利用であれば、研修室をお使いになる場合は100%以下となります。

歌、演劇、吹奏楽は50%以下と申しあげたのですが、例えば大ホールでコンサートをやる時のお客さんの定員が50%ということではありません。観客席という意味であれば、最前列を開けていただければ、それ以外は100%ということで、舞台上は適切な距離を取っていただくということになります。

○I

研修室は合唱練習だと50%になるわけですね。会議であれば100%になる。実行委員会の会議であれば、1001学習室などで定員が50人のところは50人使えるということですね。

301、302会議室も16人になるわけですね。

○大割企画課長補佐

はい。

○I

301、302会議室が8人しか駄目と言われると、10人ぐらいで集まろうとすると、すぐに大きいところに行かなければいけない。1年先まで予約すると、結構な金額になるようです。

18日というのは、よほどのことがない限り100%になると見込んでいて良いのでしょうか。

○大割企画課長補佐

現状のような状況が続けば、そうなります。

○I

もし、それが続かないのであれば、例えばそういう……

○土方調整担当理事

新しい課題が出てきたらまた変わります。

○I

教育会館を何かイベントで使うときに、料金を減額してもらいたいのであれば、申請理由によっては許可することがあると、借りたときにお手紙をもらいました。こちらでは、こういう状況が続く場合に、減額を検討されることはないのでしょうか。

○佐々木文化生涯学習課長

文化施設3館については、財団が指定管理者であり、利用料金制度を導入しています。施設利用料金は、市の条例により上限額が設定されていますので、市で条例を変えればそういったことも可能にはなります。ただこの間、一方でコロナの対策で人的負担ですとか、物質的にもアルコール消毒とか、サーマルカメラなどを財団で導入している中で、コロナ対策としてかかっている負担もあるため、そういったところを含めて考えますと、減額するところまでの検討には至っていません。

○ I

我々としては、コロナであるがゆえの減額みたいなものがないのかなど。市町村によっては、コロナの対策で減額にしている自治体も何か所か聞いているものですから、恒常的なものはあるのかもしれないが、こういう異常事態に、例えば助成金ではないですが、そういう考え方でできないものだろうかというところをお願いしたいのです。

○佐々木文化生涯学習課長

今回、コロナを理由に利用が取り消された場合は、施設利用料金を全額還付しているため、財団にとっては大分利用料金収入が減っているところがあります。利用料をさらに減額してということになると、財団の利用料金収入がさらに下がります。そうすると、また市から財団に支払う指定管理料を増額していく必要が生じます。コロナの中で生活に困っている方々がいる中で、市として何がベストなのかというところを考えていかなければいけない問題ですので、今すぐに施設の利用料の減額は、難しいと考えています。

○ I

利用者にとってみれば、使っていて減にならないと、市がそういう活動を支援しているところが実感として感じられないところがあります。また、そのことによって、例えば高齢になってくると、ますます人と人が接する機会がなくなってしまいます。市民の生活を刺激する上でも、財団と市の関係ではなくて、利用者と市との関係で、そういう制度をぜひ検討していただければと思います。

○木村企画課長

では、3点目のLEDの件です。

○佐々木文化生涯学習課長

LEDの件については、我々としてももちろんLED化して、環境にも優しく、コストも下げたいというのがありますが、一方で、先ほどから申しあげているとおり、市の公共施設がたくさんある中で、たづくりにしても、築20年以上経っていて、環境面的な改善よりも、施設としての安全面での改修や、市民の皆様の使い勝手が良くなるとか、法に遵守する形での改修がどうしても優先されてしまいます。なおかつ、市としては何百も公共施設を抱えている中で、LED化まで計画上進まないのが現状です。

我々も今、LED化しなくて良いと思っているわけではないということです。

○E

管球だけ換える見積りぐらい出してみたらどうなのでしょう。

○大割企画課長補佐

もちろん検討したことがないわけではなくて、検討した上でそういうことになっています。

○B

自分の番になったら言おうかなと思ったのです。今のはすごくよく分かりますが、Gさんみたいな意見の人に納得してもらうには、自分たちも努力しています、市に言っていますと言っただけでは、本当にやっているのか疑問に感じてしまう。LED化をするとこれくらいかかる。LEDにしなれば、現実にはこれくらい光熱費がかかると具体的に数値として出して、LED化すればこれだけ経費削減になる。それを何とかお願いしたいと市に言っているが、建物自体も20年たっているから、安全面での改修などが優先されてしまうと説明すれば、非常に説得力があるというか、私たちもそうなのかと思えます。今お話を聞いていて、やっていますだけでは納得できません。

特にGさんが出したのに、要望事項等対応表に書かれなかったことが、彼としては無視されているのかという印象を持たれてしまったのではないですか。そのことはさっきお答えがあったが、そういう試算を出すというのはできないのでしょうか。

○大割企画課長補佐

例えば直管の蛍光灯について、LEDの直管の球があることはもちろん承知しています。取り替えるにあたり、蛍光灯器具の中には安定器という部材がありますが、そこを電氣的に切断して直結させるという電気工事が必要になります。これは電気製品の改造に当たるため、調布市として取り得る工事の方法ではないのかなと。そのため、その点については見積りを取っていません。LED器具に更新する見積りについては、私どもで全て取っていますので、それについては市と共有しています。その上で、現段階では計画に乗っていないということです。

○木村企画課長

よろしいでしょうか。時間が押していますので、次に移ります。次にBの方。

○B

実は私も対応表の2番の件です。1月末と3月に公開講座を予定しているので、今日1月の部屋を予約しました。3月は外部の先生にお願いするので、映像シアターを申し込みました。映像シアターは定員が100人のため、上限50人となりますが、100人でやっても良いということですか。

1月の公開講座は、メンバーがいつも12、13人です。だから、301会議室でやっているのです

が、制限があったため601・602会議室の2つを押さえたのです。制限を緩和するということなので、キャンセルして、また小さい部屋を取り直したほうが良いということですね。

○大割企画課長補佐

映像シアターの話は補足します。利用の形態は色々ありますが、例えば講師の方がいて、前でお話になる場合は、飛沫の関係で最前列は空けてもらいたいのです。ただ映像を見るだけというのであれば、空けなくても結構です。

○B

映像を見るのと、講師の先生のお話と両方なので、最前列を空けるということで良いですね。

あともう一つ、1月末の公開講座は小さいお部屋で大丈夫でしょうか。

○大割企画課長補佐

現状で言いますと、会議室であれば、定員の100%以下で利用可能ですので、601・602会議室のほうは、キャンセルしていただければ。

○B

あ、違う、301と302を2つ押さえたのです。303と304を一つではとても駄目だろうと。では、一つでも大丈夫ということですね。

○大割企画課長補佐

はい、大丈夫です。

○E

18日以降の部屋を予約する場合、知らないで大きい部屋を取ってしまいますよね。私はいつもネットで予約をやるのですが、それをきちんと表示してくれないと、大きい部屋を取り過ぎてしまって損したということになるので、何とかしてください。

○大割企画課長補佐

お客様一人一人にご案内はできないのですが、ホームページと施設予約システムでメールの登録をされている方については、そのご案内をしています。あとは、ご相談いただければ個別に対応させていただきます。

○B

グリーンホールでずっと出ていた問題ですが、これ、建て替えるのかどうなのかは市民にとってはすごく大きい。行政は令和10年に建て替えるということを正式な場に出していますよね。

○佐々木文化生涯学習課長

令和10年という形では出していません。今の基本計画を作ったのが平成31年3月ですが、その時点から、つまり令和元年から10年以内の更新を見据えて検討を進めますということにしてい

ます。

○B

では、以内ということは、例えば7年とか8年に計画が動き出す。そうすると、更地にして建てるようになったら、その間、グリーンホールは、単に外部のオペラやる、何とかやるだけではなくて、市内の小学校や中学校の合唱コンクールとか、結構利用が高いわけです。私、今初めてIさんからマックスのキャパが1,000人だと聞いて、ここまで出ているのかと。そういう話が結構進んでいるのだと、すごくびっくりしたのです。やはりそれは大きいです。1,000人なのか、1,300人なのか。今、1,300席でぎりぎりというか、物によっては満席になっているわけで、これを1,000席というのはすごく問題がある。

市外の人が利用しても良いのですが、まずどういう使い勝手にするのか、どれくらいのキャパが良いのかということ、対応表にも書いてあるが、利用者の方々の意見を聞くということ、それも1回、2回、簡単に聞くのではなくて、何度でもやって、後悔のないようにお願いしたい。多額の税金を使うわけだから。どこがそのリーダーシップを取るのですか。駅前の一等地にあるグリーンホールの建て替えをやるわけだから、すごく大きな問題です。はっきり言いますが、調布の悪いところは、コンサルに丸投げするのです。私はそう思っています。例えば、ここを造ったときも、ある意味、丸投げだったのです。何十年前、中央公民館と複合施設にするときも、そういう話を私は聞いています。

だから、設計の人がいて、コンサルが入るのはもちろん良いと思うのですが、そのときに、市のほうで1,000席では困る、市民が1,300席は必要だと言っている。ここは譲れる、ここは譲れない、市民の声がこうだということをやちゃんと専門家、コンサルなり、設計の人たちと対等に話し合っ、こちらはこう思っているということをやっしていかなかったら、できてしまったら、使い勝手が悪いよねとなってしまう。

たづくりも、私たちは、事務局は1階に持ってきてほしかったわけです。保育室だって7階へ行って、地震があったらどうするのですかと。いったん7階まで行って鍵を借りたり、保育もそうです。例えば、保育室が2階、3階だったら階段から下りられるが、7階から小さい子を連れて、何かあったときにどうするのですかと。私たち市民は、中央公民館の時代にそういう懇談会をつくっていたわけです。いっぱい利用する私たちの声を出していったのに、私たちの気持ちとしては、出来上がったら、その声がどこに届いているのかという感じだったのです。だから、そういう失敗を繰り返してほしくないし、せっかくみんなの税金で造るのだから、ちゃんと良かったね、良いのができたねと言えるものを造ってほしいというか、造っていきいたいと思うので、今のIさんのこういう声をぜひ聞いてほしいとすごく思います。

○E

先に有識者と利用団体、利用者による検討会を立ち上げると。ただ、今年度中にたたき台をつくるということもあったのです。たたき台はだれがつくるのですかということが一つ、それから今、Bさんが説明会と言われましたが、説明会の前に、ワークショップ形式でも良いと思うのですが、できるだけ利用者の声を聞く会を持って、色々な要望とか希望を聞いてから検討会をつくるという手順のほうが、物を作るのに良いのではないかと思います。

だから、検討会を今年度中につくる、一方でどこかの検討会がたたき台をつくると言ったら、「いや……」ということでしたよね。

○佐々木文化生涯学習課長

検討会の中でたたき台をまとめていくという形になります。というのは、私たち文化生涯学習課としては、ホール機能について検討を進めていく部署です。民間活力の導入とか、施設全体をどう整備していくかというところは、公共施設マネジメント担当が中心になってやっていく。もちろん我々、連携しながらやっていくのですが、そういった中で、ホール規模も含めて、さっきのIさんがおっしゃったような1,300席が良いのだというご意見も含めてどういう規模にしていくかを検討していくのは、私たちのセクションが中心になってやっていく。

そういう意味では、私たちとしては、有識者やIさんたちの団体を含めて普段グリーンホールを利用されている方々を中心に、まずはその検討を進めていきたい。そこである程度考え方が整理されてきた段階で広く市民の皆様にご意見を聞く場面も必要だろうということで、市民参加のやり方については、今、こういうコロナ禍の状況ですので、どういうやり方が良いのかは、色々工夫しながらやっていかなければいけません、それも並行してやっていくということで、市としての最終的な考え方をまとめていきます。

当然、検討会と並行する形で、利用者の団体の皆様、文化協会の皆様とは引き続き意見交換したいと思っています。

○I

総合福祉センター関係の検討会とグリーンホール関係の検討会を二つ立ち上げるということなのですか。今、計画がそのままなのかどうか分かりませんが、総合福祉センターの行き場所が決まらなないと、グリーンホールは検討ができないという話までは聞こえてきていたのです。二つの検討会はこれから立ち上げると。

○佐々木文化生涯学習課長

そうです。

○I

それで、前から言っていた利用者との話し合いというのは、今年度と言ってももう既に11月ですから、いつなのかとずっと待っていたところです。

○E

利用者というのは、既に利用している団体です。そうすると、公募市民とか一般市民は入らないのですか。

○佐々木文化生涯学習課長

そこはまた別に、広く市民の方の意見をお聞きする場をつくっていきます。それをどういう形でやるかは、例えば都市整備部が駅前広場の整備の関係で、オープンハウスみたいなやり方をしています。そういったものも参考にしながら、コロナ禍でもありますので、どういうやり方がベストなのかは少し考えていきたいと思っています。

○E

説明会の前に意見交換会ですね。

○佐々木文化生涯学習課長

広く市民の方から意見を聞くような機会はもちろんつくっていききたいなど。

○E

要望なのですが、先ほどGさんが、会議録がなくて、対応表でセレクトされているのではないかとのことでした。その場で答えられないことだけを右側に載せているということでしたよね。

○土方調整担当理事

基本的に質問があって、それに回答できて、納得していただいたら、そこはそれで終わりという形にしています。

○E

それも何か載せてくださったほうが、文章で見られたほうが私たちは確認できる。

○土方調整担当理事

会議録では細かく載っています。先ほど言ったように、我々としては、これは終わったと判断して、載せる載せないを判断していたのですが、先ほどのGさんの件は次に載せるようにします。

○E

ただ、意見要望して、その場で答えが出されたか、それに納得したかどうか微妙なところではないですか。だから、できれば全部の意見がこうやって一覧できたほうが良い。少し考えてください。

○土方調整担当理事

はい。

○B

もう一つあったのですが、短く言います。前から障害者の人たちが総合福祉センターで何か販売していますね。私たちはたづくりまつりのときに、障害者の施設からパンを仕入れて、2日間、数を結構売ります。総合福祉センターより、このほうがどれだけ利用者の出入り、特にロビーなどというのは本当に色々な人が行き交うので、物が売れるというのは、人が集まるということですから、一角にそういうコーナーをつくってはどうか。

○土方調整担当理事

平日は市でお弁当とかを売っています。土日とかは、Bさんからそういう話があったのです。福祉関係事業所に確認してみたら、土曜日とか日曜日は休日なので厳しいですねと。相談に行ったらそういう回答だったのです。

○B

そういうお返事で、もちろん動いていただいたのは私も分かっています。土日ということではなくて、今、市役所の食堂もなくなってしまったし、福祉センターでガラスケースに色々なのを売っているが、あそこは、ここに比べたら人の出入りが多くないので、1階のどこかでそういうコーナーをつくって、彼らが作ったものを売れるところとか。だから土日は休んでも良いです。逆に月、火、水、木、金、そのところで売るみたいなのが作れないのかなと。

○土方調整担当理事

1階というのは、保健所の許可の関係もありますので、安易には販売できないので、厳しいところがあります。市に話してみます。

○B

簡単にいかないのは分かります。でも、そこを何とかできたらと。検討していただきたいということです。

○佐々木文化生涯学習課長

前々からEさん、Bさんからも昼食のことは言われていますし、市でも市庁舎の食堂がなくなった、売店もなくなってしまったという中で、そういった機能をたづくりのどこかにというところは、私たちの内部でも検討しているところですが、例えば1階の喫茶室をそうするとなると、そこはまた施設改修とかも必要になってくる。色々ハードルもありますので、そこは引き続き検討していきます。よろしくお願いします。

○木村企画課長

では、本日は多岐にわたり貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後のたづくり、グリーンホール、せんがわ劇場の運営に生かしていきます。また、今後何かお気づきの点な

どありましたら、7階の事務室、またはお電話、メールなどでも結構ですので、お気軽にお声をかけてください。

なお、次回の利用者懇談会は、令和3年度上半期の実施を予定しています。予定については、改めてホームページ、広報紙「ばれっと」などでお伝えします。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第2回利用者懇談会を閉会とします。本日はありがとうございました。

——了——